

## 1. 教育計画

成人看護学

分野	専門分野Ⅱ 成人看護学	科目名	おとなの生活再構築を支える看護Ⅲ（終末期の看護）
単位・時間	1単位・15時間	対象学年	2年生
方法	講義	時期	後期
講師名 （担当授業時間数）	法人講師 尾形育恵（12時間） 法人講師 （2時間）		
学習目標	終末期における看護の方法を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院：系統看護学講座 別巻 緩和ケア		
参考文献			
履修上の留意	提出物は提出期限を厳守すること 試験の受験資格：規定時間の講義への出席		
講師からの メッセージ	死にゆく患者自身の苦痛、大切な人を喪失する家族の苦痛を理解した上で、最期の貴重な時間に私たち看護師はケアとして何が提供できるのか、どのような姿勢が大切なのか、緩和ケアも踏まえ学習できればと思います。		

## 2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	1. 緩和ケア概の現状と展望	1. 緩和ケアの歴史と発展 2. 緩和ケアの理念 3. 緩和ケアの展望	講義	
		2. 緩和ケアにおけるチームアプローチ	1. 緩和ケアにおけるチームアプローチの意義 2. チームアプローチにおいて 3. チームアプローチにおけるメンバーシップ		
		3. 緩和ケアにおけるコミュニケーション	1. コミュニケーションの基本的知識 2. 看護師のコミュニケーションの意義 3. コミュニケーションに関する患者と医療者の認識 4. コミュニケーションを支えるスキルとプログラム 5. むずかしい場面でのコミュニケーション		

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
2	2	4. 緩和ケアにおける倫理的課題	1. 生命倫理と看護倫理 2. 意思決定（ACP）支援 3. 緩和ケアをめぐる倫理的課題	講義	
3	2	5. 全人的ケアの実践	1. 身体的ケア 2. 心理的ケア 3. 社会的ケア 4. スピリチュアルケア	講義	
4	2	6. 緩和ケアの広がり	1. ライフサイクルにおける広がり 2. さまざまな疾患の広がり 3. 療養の場の広がり 地域・施設・在宅	講義	
5	2	7. 臨死期のケア	1. 臨死期の概念とケアの目標 2. 臨死期における全人的苦痛の緩和 3. 死亡前後のケア 死後のケア 4. 急変時のケア	講義	訪問看護師講義
6	2	8. 家族ケア	1. 家族の定義と家族ケアのあり方 2. 緩和ケアにおける家族看護過程 3. 家族ケアの方法 4. グリーフと遺族ケア	講義	
7	2	9. 医療スタッフのケア	1. ストレスマネジメント 2. マインドフルネス	講義	
		10. 緩和ケアに関する教育	1. 基礎教育 2. 継続教育		
		11. 緩和ケアにおける研究	1. 緩和ケアにおける研究 2. 緩和ケアにおける研究と倫理 3. 緩和ケアの研究の計画と実施		
8	2	評価	筆記試験		